



La Confiance

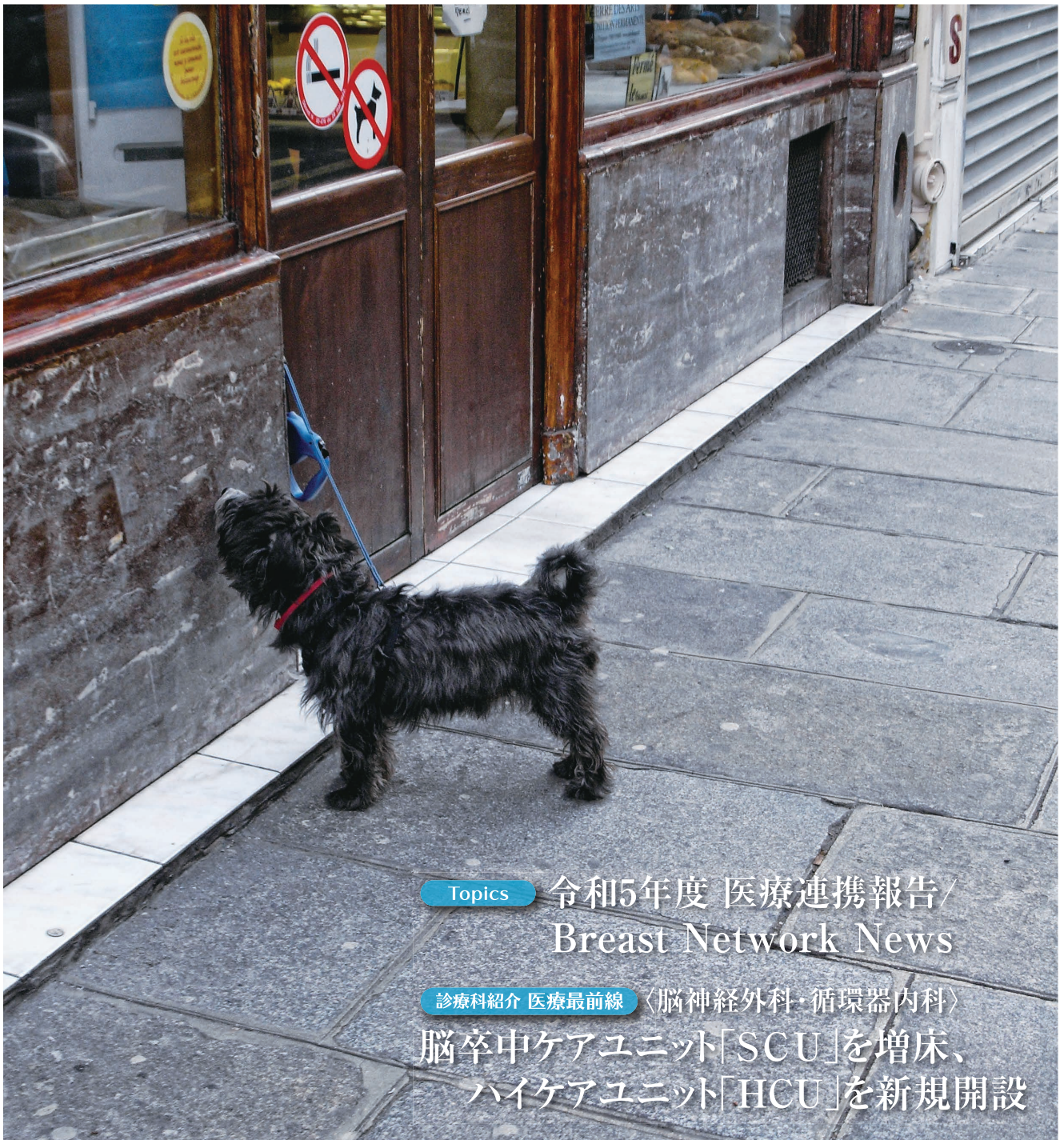
ラ・コンフィアンス

大阪赤十字病院 患者総合支援センターだより

Confiance(コンフィアンス)とは、フランス語で「信頼、信用」を意味します。

vol.44

2024年 夏号



Topics

令和5年度 医療連携報告/
Breast Network News

診療科紹介 医療最前線

〈脳神経外科・循環器内科〉

脳卒中ケアユニット「SCU」を増床、
ハイケアユニット「HCU」を新規開設

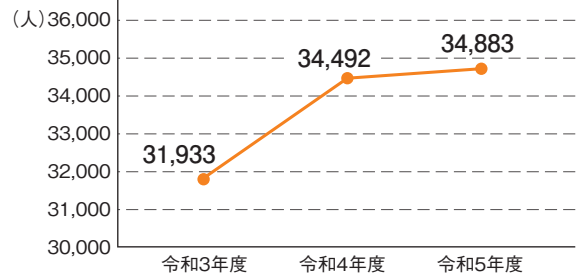
Topics 1 令和5年度 医療連携報告

令和5年度は34,883件のご紹介をいただきました。たくさんのご紹介をいただきましてありがとうございます。今年度も地域の先生方のご理解とご協力をいただきながら、よりスムーズに患者様を受け入れられるよう積極的に組んでまいります。当院の医療連携をぜひご活用いただきますようお願い申し上げます。

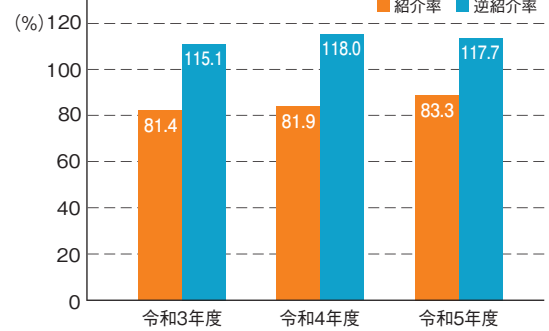
▼診療科別患者数

診療科	令和5年度	診療科	令和5年度	
リウマチ・膠原病内科	581	小児外科	338	
腎臓内科	762	呼吸器内科	2,239	
血液内科	802	呼吸器外科	129	
糖尿病・内分泌内科	834	精神神経科	291	
消化器内科	診察	整形外科	2,701	
	内視鏡検査	形成外科	835	
	腹部超音波	脳神経外科	454	
内科	1	歯科口腔外科	1,398	
循環器内科	2,077	救急科	1,095	
脳神経内科	1,430	放射線診断科	診察	0
外科	707		CT検査	878
乳腺外科	711		MRI検査	357
心臓血管外科	107		核医学検査	152
眼科	2,943		一般撮影検査	0
産婦人科	1,921	骨塩定量	51	
皮膚科	1,350	放射線治療科	17	
泌尿器科	1,306	緩和ケア科	45	
耳鼻咽喉科	1,739	腫瘍内科	24	
小児科	2,721	合計	34,883	

▼紹介患者数



▼紹介率・逆紹介率



Topics 2 Breast Network News 乳腺外科主任部長 露木 茂

乳がん術後連携パスにご協力いただき誠にありがとうございます。日々の診療にお役に立てるように、定期的に乳腺疾患についての情報発信を行ってまいります。

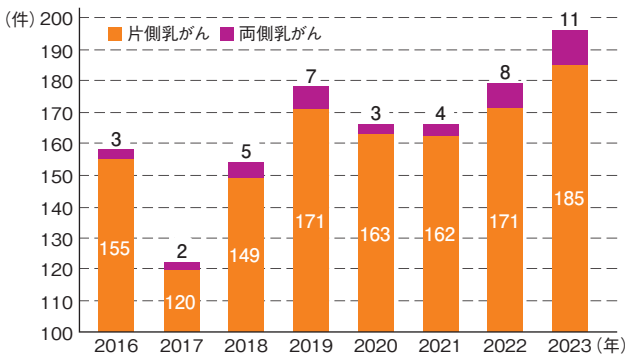
4月から新体制に

3月末で田中 崇誉先生は、当科での研修を終え、関西医大病院に戻りました。4月より、専攻医3年目の谷田 梨乃先生が関西電力病院での研修を終えて当科に戻って来ました。また専攻医1年目の岡田 あずさ先生が、当科の一員となりました。乳腺専門医4名と専攻医2名の6人体制で診療に従事しますので、よろしくお願いたします。

露木 茂(乳腺外科主任部長)
 康 裕紀子(医長) / 仙田 典子(医長) / 西本 舞(医師)
 谷田 梨乃(専攻医) / 岡田 あずさ(専攻医)

■乳がん手術件数の推移

手術件数は紹介医の先生方のご協力により、年々増加しています。誠にありがとうございます。



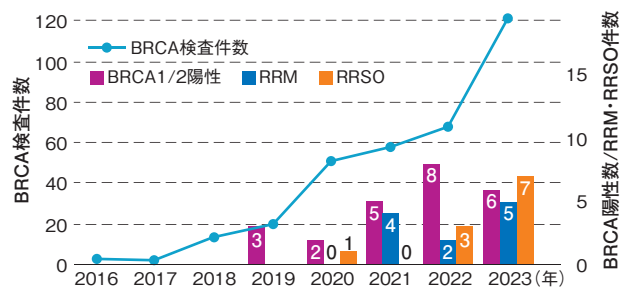
■当科の遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)に対する診療実績

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)のスクリーニング検査:BRCA1/2遺伝学的検査は、2020年に保険承認されてから、件数は年々増加しています。昨年5月に発足した遺伝診療部門により、適格患者の拾い上げや結果解釈、サーベイランスなどのHBOC診療体制が充実しています。

BRCA1/2遺伝学的検査で病的バリエーションありの頻度は、7.2%(24/335)でした。内訳はBRCA1:6例、BRCA2:18例、VUS(意義不明のバリエーション):10例でした。

BRCA1/2病的バリエーション陽性の24例中、乳房リスク低減手術(RRM)に11例(46%)、卵巣卵巣リスク低減手術(RRSO)に11例(46%)実施されました。

今後も、乳がん、卵巣がんの予防医療を推進していきたいと考えています。



2024年
5月より
運用開始！

脳卒中ケアユニット「SCU」を増床、 ハイケアユニット「HCU」を新規開設



脳神経外科主任部長 兼 院長補佐 橋本 憲司

1991年奈良県立医科大学卒業。京都大学医学部附属病院精神科で研修後、脳神経外科へ転科。京都大学大学院を経てアメリカのテネシー州立大学に留学。2004年から当院にて勤務後、浜松労災病院などを経て、2019年再び当院へ、現職に兼任。

●脳卒中ケアユニット「SCU」の 増床工事が完了しました

この度、SCUの工事が完了し、3床から6床に増床となりましたのでお知らせします。SCUとは、ご存知の通り、急性期脳卒中の専用病床のことです。脳卒中治療医



▼SCU病室

が常に院内に在駐し、看護師は3:1で配置されています。リハビリテーションも専任者を置くことが施設基準で定められています。ICUなど他のユニットと異なるところは、入室患者が必ずしも重症とは限らないことです。脳卒中は発症後も短期間で症状が進行することが多いうえ、対応が遅れると治療効果が望めません。また、神経症状の評価法は全身状態の評価法とはずいぶん異なります。そのため、脳卒中患者は軽症例であっても初期から専門病床で管理し、進行例には追加治療を、安定例には1日も早くリハビリテーションを開始することが、有意に予後を改善するとされています。

くも膜下出血においては、1995年に脳動脈瘤コイル塞栓術が保険承認され、現在では開頭クリッピング術より多く行われています。また、かつては有効な治療がないともいわれた急性期脳梗塞も、2005年にtPAによる脳血栓溶解療法が、2010年には経皮的脳血栓回収療法が認可され、今では一般に普及しています。これらの急性期治療後の管理を行うのもSCUの役割です。

当院のSCUは2011年11月に7B病棟を一部改装して、3床でスタートしましたが、最近では脳卒中患者数の増加に対応することが難しくなっていました。また、他診療科でも重症患者が増え、ICU満床による救急受け入れ制限が頻発し、HCUの必要性がクローズアップされるようになりました。こういった背景から、当院坂井義治院長の英断により、7B病棟を全面改築し、一般病床を無くして全てユニット病床にするという一大プロジェクトが敢行されました。それが、今回完了したHCU新規開設とSCU増設です。

パワーアップしたSCUを活用し、脳神経内科と脳神経外科が協力して、今後も脳卒中患者さんの予後を改善するために精進してまいります。何卒よろしくお願いいたします。



循環器内科部長 林 富士男

1993年京都大学医学部卒業。同大学附属病院での内科研修を経て、1994年小倉記念病院に循環器内科医として入職。1997年より当院循環器内科へ。2009年副部長、2016年から集中治療部副部長を兼務。2023年より現職。

●ハイケアユニット「HCU」を 新規開設しました

昨今の医療技術の進歩や社会の高齢化に伴い、複数の併存症を持つ重症患者が増加し、治療が長期化することもしばしば経験します。当院では長らくICU/CCU12床で対応してきましたが、病床不足のため地域の要請に応需できない機会も少なくありませんでした。

2024年5月より、当院7階にHCUを設け12床で運用を開始しました。HCUとは、「High Care Unit」(ハイケアユニット)の頭文字をとったもので、ICUと一般病棟の中間の位置付けであり、4対1看護体制となります。当院でのその主な役割として、

①ICU/CCU管理までは必要としない術後の患者さんを受け入れる治療室としての役割(サブICU) ②ICU/CCU管理後の転棟先としての役割(ポストICU) ③一般病棟で対応困難な重症管理を要する患者さんの受け入れ先としての役割(セミICU) の3つを掲げています。そのためICU/CCUと同じ重症系システムを導入し、ユニット間の患者移動を容易にしました。モニター設備も充実しており、酸素などの配管やモニター・電源等を集約した縦型コラムシステムの採用でベッドの頭周りが整理され、ベッドサイドでの検査や処置のスペースを確保しています。

臨床工学士や薬剤師、理学療法士を含むチーム医療も積極的に行ない、高度な治療・看護を要する患者さんを安全に受け入れ、一般病棟での生活へのスムーズな移行を図ります。このようなHCUでの診療が、患者さんの入院期間の短縮や、さらには退院後の早期社会復帰につながることを願い、今後もスタッフ一同努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



▲HCU廊下



▶HCU病室

第31回 大阪赤十字病院懇話会報告

2024年6月29日(土)にシェラトン都ホテルにてハイブリッド方式で開催いたしました。現地参加とWEB参加を含め、大勢の先生方にご参加いただきました。

今年度も前年度に引き続き、講演会後に懇親会を開催することができました。地域の先生方と直接お会いできる貴重な機会に積極的な意見交換を行うことができ、大変有意義な時間となりました。



▲懇親会

次年度も6月の土曜日に開催を予定しています。より多くの地域の先生方のご参加をお待ちしています。



▶講演会

人事異動紹介

2024年4月2日～7月1日

- 新任** 5月 1日付【消化器内科】久保 智暉(専攻医)
【消化器内科】武田 康宏(非常勤嘱託医師)
【緩和ケア科】清水 正樹(非常勤嘱託医師)
大棟 有紀(非常勤嘱託医師)
- 6月 1日付【緩和ケア科】岩城 隆二(非常勤嘱託医師)
【麻酔科・集中治療部】江木 盛時(非常勤嘱託医師)
- 7月 1日付【心臓血管外科】岡田 達治(医長)
【小児科】西林 優(専攻医)
【眼科】酒井 亮輔(専攻医)
- 退職** 4月30日付【循環器内科】長央 和也(副部長)
【消化器内科】服部 友哉(専攻医)
- 5月31日付【呼吸器内科】森田 恭平(医長→非常勤嘱託医師)
【循環器内科】湯川 弘(医師)
- 6月30日付【緩和ケア科】端 裕之(主任部長)
【血液内科】吉岡 聡(副部長)
【心臓血管外科】阪口 仁寿(副部長)
【病理診断科】南口 早智子(非常勤嘱託医師)
【脳神経外科】楊 涛(医長→非常勤嘱託医師)

日赤オンライン医学講座

ぜひ、
ご覧ください!

地域の先生方や一般市民の皆さま向けにオンラインでの医学講座を行っています。申込不要でお好きな時間にご視聴いただける10～20分程度のミニ講座です。

7月開催分

「ストレスと病気とのかかわりについて」

精神神経科 公認心理師/臨床心理士 高瀬 みき

「急性期病院における排尿ケア

～排尿ケアチームの活動～

看護係長/皮膚・排泄ケア認定看護師 福嶋 智子

- 当院ホームページから視聴できます。
- **YouTubeによる動画配信** (公開より1年間視聴可)
- 月に2回、原則毎月1日・15日に新規動画を配信。
※ 休日の場合は翌開庁日です。

https://www.youtube.com/playlist?list=PL00syUBOnjajkeNHmZol7BsrNmCE3g_S8



Information

講演会・イベントのご案内

2024年8月～10月

第55回 大阪赤十字病院日赤フォーラム

- ◆ 日 時/9月7日(土) 15:00～
- ◆ 場 所/大阪赤十字病院 4階 第4会議室
ハイブリッド方式(WEB開催との併用)
- ◆ テーマ/「がん診療の進歩とチーム医療の現状」

大阪赤十字病院

小児科 クリニカルカンファレンス

- ◆ 日 時/第344回 9月26日(木) 15:00～16:30
第345回 10月24日(木)
- ◆ 場 所/大阪赤十字病院 4階 第4会議室 + WEB(Zoom)
- ◆ 主 催/大阪赤十字病院 小児科
- ◆ 対 象/医師、医療関係者
- ◆ 参加費/無料

※開催方法や詳しい演題名・演者は発表月の第1週に決定しますのでお問い合わせください。

第37回 上本町整形外科フォーラム

- ◆ 日 時/9月28日(土) 14:50～17:00
- ◆ 場 所/大阪赤十字看護専門学校 地下1階合同教室
- ◆ 参加費/1,000円

※日整会単位をご希望される場合は受講料として1単位1,000円が別途必要になります。

▶ 2024年4月より、「医療連携課」は「医療連携・入退院支援課」と名称を変更いたしました。

発行

大阪赤十字病院 医療連携・入退院支援課

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

<https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

2024年7月発行

■医療連携・入退院支援課のご案内

受付時間/平日8:30～20:00、土曜8:30～13:00

休 診 日/日曜・祝日、12月29日～1月3日(年末年始)、5月1日(本社創立記念日)

連 絡 先/(直通) TEL:06-6774-5127

FAX:06-6774-5126